2025年度　上　期

２０２６年　４　月　４　日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人　ペット終活サポートネット宮城	
代表者名	代表理事　齋藤　まり子	
連絡先 TEL：０８００－８０８－０２１５ FAX：０２２－３９９－２４８４		E-mail　： miyagi.pet.shukatsu@gmail.com

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	いくつになってもペットと安心して暮らすためのサポート・システム調査研究事業
事業の目的	宮城県内の高齢者とペットに関する現状と課題を明らかにするとともに，先進事業や先行研究を参考に，地域に応じたペット共生のサポート・システムのアイデアを得ること，またその理解者や協力者のすそ野を広げることを目的とした参画型の調査研究活動をする。
事業の具体的内容	調査研究活動は，年間を通した「ペット共生勉強会」の活動の一環とし，様々な専門分野や関心のある方々とのネットワーク作りの機会とした。 調査研究の内容は、次の３方向から実施した。 １　公開勉強会の開催 （1）宮城県の実態調査研究関係（報告会） （2）全国の先行事例の研究（講演会・シンポジウム等） （3）飼い主向け勉強会(講演と地元交流会) ２　アンケート調査 ペット共生の課題や希望について、飼い主や関係者からの意見を調査 ３　研究のまとめと行政への提案や報告
活動の開始から完了までの流れ	１　公開勉強会 （1）宮城県の実態調査研究関係

	①9月21日(日)「宮城の現場の声を聴く会」 病院現場、保護活動団体からの事例報告 ②10月19日(日)「先進事例宮城にもあったらいいなを語る会」勉強会参加者からの情報収集報告 （2）先行事例の勉強会 ①11月24日（月祝）講演とシンポジウム「高齢者とペットのサポート最前線～人と動物の福祉を両輪　で」安野舞子氏（横浜国立大学） シンポジウム「宮城野現場から動き出す～地域の課題と希望」 松田聡子氏（にじのはしスペイクリニック宮城分院）/佐藤真貴子氏（高齢者とペット問題を考える『まるの会』）/横田昌宏氏（一社仙台猫団体連悪協議会『ねこ連』） ②2月3日（火）講演「人にも動物にもやさしいまちづくり～滋賀県『こうが人福祉動物福祉協働会議』に学ぶ」 田中ヒロヤ氏（滋賀県動物愛護推進員）、 吉田時子氏（滋賀県動物保護管理センター） （3）飼い主向け勉強会 12月27日(土)「お金とペットとあなたの将来考えませんか？＆地元関係事業者ひろば」飯田久枝氏（アニマル・ライフ・デザイン）、白岩留美子（行政書士） 2　アンケート調査 ペット共生勉強会参加者及びSNSを通じたオンライン調査（主に飼い主や勉強会参加者からの声） 3　研究のまとめ （1）行政への提案 12月8日「高齢者とペットの支援を重層的支援体制事業に位置づけるための提案書」提出 次年度も継続して協働会議の場を設けてくれるよう、準備提案予定。 （2）アンケート調査のまとめ→1月オンライン会議。 課題と希望について意見集約 3月4日行政との協働会議に向けた事前準備会 「人と動物生活支援研究会～人と動物四方由協働会議」の提案と研究会の発足 →4月以降、アンケート結果や行政との定例会議を提

	案予定 ※本助成金は、講師謝金・交通費を支援いただいたので、２月の公開勉強会と、それを受けた３月の事前準備会の分までをまとめ、完了とする。
活動の成果と教訓	高齢になってもペットと安心して暮らすためのサポート・システムを調査研究することを目的に、「ペット共生勉強会」を 2025 年６月から立ち上げ、３月まで計 13 回継続的に実施した。 **＜参加者について＞** このテーマに関心を示して参加した人数は、のべ 200 名に達した。オンライン、公開型勉強会はアーカイブ配信も行い、そのときの勉強会に居合わせられない方々も、遠くは青森県や東京、神奈川県、宮城県でも仙台市外の方など関心を示して参加してくれた。固定メンバーの他に、勉強会の毎回のテーマに合わせて参加者も変わっていることも特徴的だった。 参加者は、犬猫の飼い主のみではなく、人の看護師や病院勤務者、地域包括支援センターや訪問介護、訪問医療関係者、民生委員や宮城県の動物愛護推進員、動物取扱関係業者、動物専門学校教員、動物の保護活動家など、動物だけではなく、人の福祉に携わる方々が多かった。年代は 40～50 代が多くを占めたが、次いで 60～70 代の参加者も多かった。 それぞれの現場や立場から、「高齢になってペットと安心して暮らせない現状」に課題を感じている方々がほとんどで、なんとかしたいと思う方々だった。 **＜公開勉強会＞** **１　現状を知る会** 助成を受けた９月～10 月は、参加者が携わっている現場の現状や課題を報告しあった。特に猫の保護団体が関わった高齢者の飼育崩壊の実態や保護活動、行政との関係、多頭飼育崩壊現場の支援などの報告。病院の地域連携室からから、ペットがいることで治療や入院を拒否する患者とペットの行き先を確保しきれず遺棄、交通事故死などの悲しい結末の事例も報告された。 高齢者とペット問題として、全国的に社会課題として報じられていることが、ここ宮城でも例外なく多々あること、またそれぞれの立場で精一杯対応しても、防ぎきれないもどかしさが伝わってきた。この現状を踏まえつ

	つ、他県ではどのような解決策を展開しているのか、調べて報告しあった。 **２　先進事例を学ぶ会** １１月～２月は、飼い主の自助は前提だが、自助だけでは足りない現状を受け、共助・公助が他県ではどう行われているのか、先進事例を学ぶ機会とすることができた。 **（１）人と動物の福祉両輪で～公助・共助のサポート・システムとは** １１月の講師安野舞子准教授（横浜国立大学）による「高齢者とペットのサポート最前線～人と動物の福祉を両輪で」は、全国調査をもとに、高齢者とペットが最期まで共に暮らし、かつ人と動物両者の福祉が守られているサポート体制の好例を具体的に紹介していただいた。会場は涙する人など熱い雰囲気に包まれた。 「高齢者とペットの間に横たわる問題はすべて人間の問題」地域社会とのつながりが希薄になっている今こそ、多職種、多機関、多様なリソースとの連携を構築し、「『地域共生社会』を全国津々浦々に広めたい」と安野先生の熱い想いを会場全体で受け止めた。 宮城で始動しはじめた３名のシンポジストの話にも多くの共感が寄せられた。 アンケートから：「人も動物も幸せになれるのがゴールであること」「独居高齢者が多くなる中で、最期の迎え方を考えさせられた」「ペットの福祉に関する国内、県内の状況を示してくださり、とても心強く感じた。その情報をしっかり活用したい」など。 **（２）人にも動物にもやさしいまちづくり** **～滋賀県・甲賀市の実践に学ぶ～** １１月の安野先生の講演を機に、自治体の「早期発見・早期対応」の多機関・多職種連携のしくみの好例として紹介された「こうが人福祉動物福祉協働会議」の設立者の１人である田中ヒロヤ氏をご紹介いただき、２月には、急遽講演会も実現した。 この協働会議が、全国の先駆的好例として注目を集めており、行政と民間、人福祉と動物福祉が連携し、動物の問題を「動物部署だけの課題」にせず、人の「生きづらさ」の問題として捉え、早期発見と未然防止、人材育成や若い世代へのアプローチなど、現在進行形で進化し

	ている行政の実例をたくさん紹介いただいた。 参加者からは、「目からウロコ」「こんな視点があるのか」と新鮮な驚きの声が寄せられた。「微力でも無力ではない」「無理なくできるところから」 この言葉を胸に、ここ宮城県・仙台市でも、私たちは動き出せる。そんな高まりと充足感に包まれた研修会となった。 この２つの勉強会を通して、現状を打破するためのたくさんのヒントをいただいた。本法人の「知らせる」「つなげる・つながる」「自助だけではなく共助・公助へ」ねらいを力強く後押ししていただいた。 **（３）飼い主の自助があってこそ** 12月は、飼い主の自助力を高めることをねらいとした勉強会を実施した。未然防止のためには、孤立と生活困窮になることを防ぎたいとのねらいからだ。「お金とペットとあなたの将来を考える」として、地元の関係事業者との交流ひろばも設定した。 ペットライフの後半生に見通しをもって計画的にお金を貯える方法や、専門事業者をどう使うかなど、アニマル・ライフデザイン社長の飯田久枝氏と、行政書士の白岩留美子氏より、具体的な方法などを紹介いただいた。ペットや人の終活を支援する、地元の８つの専門事業者も資料を集めたり交流したりすることができた。 **３　「現状の課題とあったらいいな」声のまとめ** 本事業において実施した勉強会（のべ約 200 名参加）およびアンケート調査（ふせんは約 50 件）を通じて、高齢者とペットを取り巻く現状の課題と今後の希望について、多くの声が寄せられた。 主な課題としては、 ・高齢者の入院や施設入所時にペットの預け先が確保できない ・孤立や認知症の進行により、適切な飼育が困難になるケース ・多頭飼育崩壊や遺棄など、未然に防ぎきれない現状 ・医療・福祉・動物分野の連携不足 などが挙げられた。これらは、個別対応では限界があり、未然防止の仕組みが十分に整っていないことを示している。

	一方で、「あったらいいな」として多く挙がったのは、 ・早期に気づき支援につなぐ仕組み ・一時預かりや終生預かりなどの受け皿 ・相談できる窓口やつながり ・人と動物の両方を支える支援体制 であった。 　これらの声は、単なる要望にとどまらず、「人の生活課題」と「動物の福祉」を一体として捉えた支援体制構築の方向性を示すものであり、今後の具体的な取り組みに活かしていく重要な基礎資料となった。 　本助成により、現状把握から課題の整理までを体系的に進めることができた。 **4　研究のまとめ** 　本事業を通じて、「ペット共生勉強会」を軸にした調査研究を実施した結果、助成により専門的な知見の導入と継続的な場の確保が可能となり、以下の成果が得られた。 ・多職種・多分野の関係者が集まり、継続的なネットワークが形成された ・宮城県内における高齢者とペットの課題の実態が明らかになった ・全国の先進事例から、共助・公助を含めた支援の方向性を学ぶことができた ・行政への提案を行い、協働の可能性が具体化し始めた ・「人と動物の福祉を一体として考える視点」が参加者間で共有された 　特に、動物の問題を「動物分野だけの課題」とせず、人の生活課題として捉え直す視点は、今後の地域づくりにおいて重要な方向性であることが確認された。 　また、勉強会を通じて得られたつながりは、今後の具体的な支援体制構築に向けた基盤となるものである。
今後の展望など	今後は、本事業で得られた知見とネットワークを活かし、次の実践段階へと発展させていく。 ・勉強会は継続しつつ、調査研究段階から一歩進め、具体的なモデル事業の検討・実施へ移行する ・アンケートで明らかになった課題をもとに、未然防止・早期発見・支援につなぐ仕組みづくりを進める ・行政との連携については、「人福祉の視点」を軸に据え、動物分野との協働を促進する

	・行政との連携をさらに深めるため、協働会議の定例化に向けた準備を進めている ・「人と動物生活支援研究会（仮称）」を基盤に、多職種・多機関による協働体制の構築を図る ・地域における相談・支援・受け皿機能を段階的に整備し、持続可能な支援体制の構築を目指す 　これらを通じて、「自助のみではなく、共助・公助が支えるペット共生社会」の実現を目指していく。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	１８０，０００	講師謝金、交通費
自己資金	３２，０００	参加費等
合　計	２１２，０００	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
講師謝金	ペット共生勉強会講師 ①11/24　４名分 ②12/27　２名分 ③2/3　　２名分	１２０，０００	１３５，０００
交通費	講師交通費 ①11/24　２名分（市外） ②12/27　２名分（市外）	６０，０００	７７，０００
合計		１８０，０００	２１２，０００

ペット共生勉強会活動写真（2025年11月～2026年2月分）

11月ペット共生公開勉強会











12月のペット共生勉強会
飼い主さん自助シリーズ











2月のペット共生勉強会
人と動物の福祉両輪で







いくつになっても
人とペットが安心して暮らせる社会をめざして



ペット共生勉強会

高齢者とペットのサポート最前線 ～人と動物の福祉を両輪で

宮城も動き出す・・・

予約優先
定員80名
当日受付
500円



2025 11月24日 月祝

オンデマンド配信あり（500円決済者のみ）

時間 開場13:00～
13：30～16：30

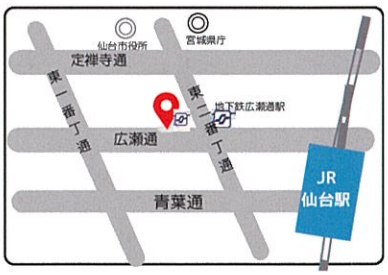
シニア世代の人とペットの孤立を防ぎたい！
人とペットを切り離さないサポートとは？

▶今回は、**「高齢者とペットの福祉を連携させるサポート・システム」を研究されている安野舞子氏をお迎えします。**全国での最新の考え方や先進的な取り組みを学びながら、宮城県の課題や今後の希望について語り合います。
▶当日参加の皆さんは、ふせんで意見をください。整理して次の提案につなげていきます。飼い主に限らず、行政や介護・福祉関係者、学生など、多様な視点からのご参加をお待ちしております。

会場 **「サポセン」仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール**

仙台市青葉区一番町4丁目１－３

・地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
・指定駐車場なし近隣有料Pをご利用ください



第1部：講演
「高齢者とペットのサポート最前線 ～人と動物の福祉を両輪で」
横浜国立大学准教授 **安野 舞子氏**

第2部：シンポジウム 参加者は、ふせんで課題や希望を出せます

テーマ 「宮城の現場から動き出す～地域の課題と希望」

シンポジスト（発表順）
- 松田聡子氏（にじのはしスペイクリニック宮城分院 院長）
- 佐藤真貴子氏（高齢者とペット問題を考える「まるの会」代表）
- 横田昌宏氏（一般社団法人 仙台猫団体連絡協議会「ねこ連」代表）

コメンテーター：安野舞子氏（横浜国立大学准教授）
コーディネーター：齋藤まり子（NPO法人ペット終活サポートネット宮城 代表）

参加予約は公式ラインアカウントからが便利

主催 NPO法人ペット終活サポートネット宮城

お問合せ・予約
予約はできるだけ公式ラインかホームページからお願いします▶
080- 0808-0215（無料通話）

ホームページ
ペット共生勉強会

この活動の一部は、2025年度上期みやぎ生協福祉活動助成金を得ております



「ペット共生勉強会」は

この勉強会は、人とペットの幸せ結びプロジェクトの一環です。
飼い主さんの力だけに任せず、地域みんなで支え合う仕組みを考える、自由な参加型の勉強会です。
ペットの有無や老若男女問わず、関心のある方ならどなたでもご参加できます

孤独・孤立・高齢化社会の中で、
家族同様のペットとの暮らしが ままならなくなっている現状があります。
飼い主さんの「終生飼養」の責任だけでは、
もう追いつかない時代になっています。

多くは「飼えなくなったペットをどうするか」という問題にすり替えられがちです。
私たち法人は、**ペットだけでなく人も**、安心して最後まで暮らせる社会をめざしています。

「早め備え（自助）」＋共助・公助の仕組みをつくることが必要です。
人と動物の福祉を切り離さず、事後ではなく予防としてのつながりを。

各地では先進事例や官民連携が動き出しています。
この勉強会では、そうした事例から学び、
地元ならではの「あったらいいな」を形にしていきます。

コアに関わっても、関心のあるときだけでも、自由にご参加ください。

2025スケジュール

特にオンライン会議や移動勉強会は，突然変更・追加あります！！　ご了承ください！

（詳細は公式ホームページと登録者向け案内でご確認ください）

月日	時間	場所	テーマ
6月7日（土）	14：00～16：00	みやぎ婦人会館	初回／情報交換会
6月25日（水）	20：00～21：00	オンライン	行政の先進事例紹介／お金の備え等情報交換会
7月９日（水）	10：00～13：00	丸森町	移動勉強会in丸森町 猫と町おこし現場（保護猫シェルター「まるもふ」，民泊施設「ステイ風土」，猫神神社建設予定地視察
8月６日（水）	11：00～15：00	仙台市	猫用高齢者住宅ウエルライフガーデン， ペット共生障害者グループホーム視察
8月20日（水）	13：00～17：00	盛岡市	移動勉強会in盛岡市（認定NPO法人「もりねこ」，老ねこケアホーム「しっぽのおうち」視察
9月21日（日）	14：00～16：00	みやぎNPOプラザ	シニア世代の人とペットに今何が？「宮城の現場の声を聴く会」
10月19日（日）	14：00～16：00	みやぎNPOプラザ	「先進事例を参考に，宮城にもあったらいいなを語る会」 各事業所，レポーターより
11月24日（月祝）	**13：30～16：30**	**仙台市サポセン**	**安野舞子氏講演「高齢者とペットのサポート最前線～人と動物の福祉を両輪で」 シンポジウム「宮城の現場から課題と希望」**
12月27日（土）	13：30～セミナー 15：00～相談会	仙台市サポセン	飼い主さん向け自助セミナー＆相談会 セミナー：アニマル・ライフ・デザイン飯田久枝氏
1～3月末			分科会別ワークショップ，一般向けリーフレット発行（予定） 次年度に続く

ペット共生勉強会
飼い主さん向けお金のセミナー



自分と大切な家族のために、賢く備えたい飼い主さんへ

お金とペットとあなたの将来考えませんか？



＆地元の情報も集めよう！

予約優先
参加費500円

オンデマンド配信あり
（500円決済者のみ）

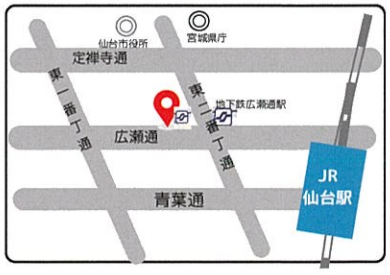
2025 12月27日 土

時間 13：30～15：45
開場13:00～ひろばは16：30まで

ペットは大切な家族　あなただけが頼りです
自分もペットも、シニア期にかかるお金に
見通しを持って、賢く備えませんか？

会場 「サポセン」
仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール
仙台市青葉区一番町4丁目１－３

・地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
・指定駐車場なし近隣有料Pをご利用ください



セミナー１

お金に愛され、ペットと豊かに暮らすための投資×メンタルの法則

アニマル・ライフ・デザイン
代表取締役 **飯田 久枝 氏**

セミナー２

ペットの世話やお金を相続するには？～ペット信託など

しらいわるみこ行政書士事務所代表
ペット相続士 **白岩 留美子 氏**

地元の関係事業者紹介

16：30まで　▶講師や地元の関係事業者のブースあり
自由に情報を集めてください！

予約は
公式ラインアカウント
からが便利

主　催 NPO法人ペット終活サポートネット宮城

お問合せ・予約
予約はできるだけ公式ラインかホームページからお願いします▶
0800-808-0215（無料通話）

ホームページ
ペット共生勉強会

この活動の一部は、2025年度上期みやぎ生協福祉活動助成金を得ております

飼い主さん向けお金のセミナー

地元の関係事業者紹介ひろば

15時頃から各事業者さんの紹介あります
（7～8事業所位）
15：30頃～16：30　紹介ひろば





こんな専門の事業者さんたちがブースを
開きます。パンフレットや情報がもらえます

【人の支援関係】

- □ペット信託・家族信託など
- □生命保険など
- □家計や老後資金相談
- □シニア期の相談から支援まで
- □介護施設紹介事業所
- □人の終活全般支援
- □葬祭やペットと入れるお墓など

【ペットの支援関係】

- □ペットの終生飼養施設
- □緊急時の預かり先
- □ペットシッターや訪問ケア
- □里親探し支援
- □飼い主さん支援事業
- □ペット保険
- □シニア期や終末期の伴走
- □ペットのグリーフケア
- □ペットの火葬や弔い
- □ペットのお墓など

講師のお2人から

- □もっと聞いてみたい
- □質問
- □資料等情報ほしい





こんな方どうぞ

予約は
公式ラインアカウント
からが便利

主　催　NPO法人ペット終活サポートネット宮城

お問合せ・予約
予約はできるだけ公式ラインかホームページからお願いします▶
0800-808-0215（無料通話）

この活動の一部は、2025年度上期みやぎ生協福祉活動助成金を得ております

ホームページ
ペット共生勉強会

ペット共生公開勉強会



人にも動物にも やさしいまちづくり

～滋賀県「こうが人福祉動物福祉協働会議」に学ぶ～



予約優先
500円
当日支払い

2026 2月3日 火

アーカイブ配信あり（500円）

時間 開場9：30
10：00～11：30

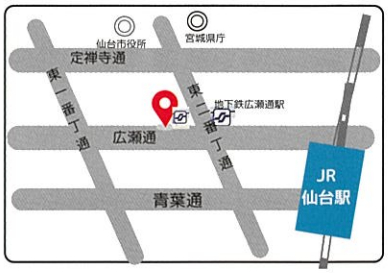
高齢・病気・障害・孤立・生活困窮などを背景に、多頭飼育崩壊、飼育継続困難など「ペットが関係する問題」が表面化することがあります。

これを飼い主の責任とだけせず、地域福祉の課題として捉え、 早期の気づきと未然防止、共助・公助のしくみをつくってきた 滋賀県甲賀市の取り組みを学びます。

会場 「サポセン」
仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

仙台市青葉区一番町4丁目１－３

・地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
・指定駐車場なし近隣有料Pをご利用ください



講演
こうが人福祉動物福祉協働会議（滋賀県甲賀市）
滋賀県動物愛護推進員 田中 ヒロヤ 氏

内容
・「こうが人福祉動物福祉協働会議」とは（約60分）
・質疑応答（約30分）

講師
▶滋賀県甲賀市において、全国に先駆けて多頭飼育崩壊などペットが関係する問題を人の問題として捉え、行政・福祉・民間が連携する場づくりを進めてきた「こうが人福祉動物福祉協働会議」の立ち上げから関わる関係者の一人。
▶「こうが人福祉動物福祉協働会議」の動物愛護推進員として、相談に至る前の段階での気づきや、関係機関がつながるための視点を共有・推進してきた。

ご本人から直接、具体的な実践を学ぶチャンスです！
ぜひ関係する皆様のご参加をお待ちしています！

参加予約は公式ラインの「勉強会予約」が便利

主催 NPO法人ペット終活サポートネット宮城

お問合せ・予約
予約はできるだけ右の公式ラインかホームページの申込フォームからお願いします▶
miyagi.pet.shukatsu@gmail.com
0800- 808-0215（無料通話）
裏面FAX

ホームページ
ペット共生勉強会

この活動の一部は、2025年度上期みやぎ生協福祉活動助成金を得ております

「ペット共生勉強会」予約FAX用紙

FAX送信番号（FAX専用です）０２２－３９９－２４８４

キャンセルの場合の連絡は不要です

２０２６年２月３日（火）１０：００～１１：３０

「人にも動物にもやさしいまちづくり」講演会に申し込みます

参加方法	□会場参加 □アーカイブ配信希望（メールかLINE使用する方、銀行振込可能の方に限る）
お名前ふりがな	
FAX番号	
メール（アーカイブ希望の方のみ）	
参加人数	合計　　人
参加者の関連するお仕事や所属先など（任意）	
知りたいことや質問等あればお願いします	

以下は事務局が記入してFAXにて返信いたします

◆ペット共生勉強会参加を

□受け付けました（当日受付でお名前をおっしゃってください）

□定員となり，今回はお受けできません

◆料金（当日受付でお支払いください）

合計（　　）円　　1人５００円（法人ユーザー登録者無料）

いただいた連絡先は，このセミナー予約のとき以外使用いたしません。